

# 「トライアドベンチャーズキャンプ in 大雪」

## ～山・水・ココロの3つの冒険キャンプ～

### ★事業の概要★

#### 事業のねらい

- 1 高度情報化等による青少年のコミュニケーション能力の低下や、実体験をともなう学びの不足などの現代的な課題に対し、北海道の広大な大地と、豊かで厳しい自然に育まれた「おおらかな心」と「たくましさ」を兼ね備えた、次代を担うリーダーを育成するためのプログラムを開発し学校や公立施設に普及する。
- 2 プログラム開発と実践から、冒険教育的な体験が青少年の「学び」を促進することへの関係性を調査し、より効果的な「学び」を促進するモデルプログラムの開発を目指す。

#### 期 日

平成25年 8月 3日(土)～ 8月12日(月)

#### 会 場

国立大雪青少年交流の家およびその周辺  
十勝岳連峰(美瑛岳、美瑛富士、オプタテシケ山)

#### 対 象 者

中学生 高校生

#### 参加者数：参加募集人数

16名(参加者内訳：中学生12名 高校生4人)：18名

#### 講 師

金 村 孔 介 氏 (NPO 法人どんころ野外学校 登山、川ガイド)

#### 日 程

<午 前>			<午 後>			<夜 間>				
8/3 (土)			受 付	開 会 式	インテーク ベースキャンプづくり	自炊 夕食	ミーティング	休憩 入浴	テント泊	
8/4 (日)	自炊 朝食	ベースキャンプ 整備	レクチャー パッキング	自炊 昼食	森の冒険 読図、ビバーク準備	自炊 夕食	ミーティング	休憩 入浴	ビバーク 体験①	
8/5 (月)	自炊 朝食	山の冒険 登山歩行訓練		自炊 昼食	山の冒険 パッキング調整、クリエイティブの計画	リストラ 夕食	目標設定	休憩 入浴	宿泊棟泊	
8/6 (火)	リストラ 朝食	2泊3日登山(1日目) 濁沢登山口～天然庭園		おきり 昼食	2泊3日登山(1日目) 天然庭園～美瑛富士避難小屋	自炊 夕食	星空観察 ミーティング	休憩 入浴	山中泊 (テント)	
8/7 (水)	自炊 朝食	2泊3日登山(2日目) クリエイティブプログラム		自炊 昼食	2泊3日登山(2日目) クリエイティブプログラム	自炊 夕食	雷雨による テント待機	休憩 入浴	山中泊 (テント)	
8/8 (木)	石垣山 サライズ アタック	自炊 朝食	2泊3日登山(3日目) 美瑛富士避難小屋～濁沢登山口		自炊 昼食	登山後片付け 入浴	リストラ 夕食	ミーティング	休憩 入浴	テント泊
8/9 (金)	自炊 朝食	フ・クリエイティブ 計画	リカバリー タイム	自炊 昼食	プチクリエイティブプログラム	自炊 夕食	ミーティング	休憩 入浴	テント泊	
8/10 (土)	自炊 朝食	スプラッシュハイク 不動滝川：碧池～不動の滝		おきり 昼食	スプラッシュ ハイク	スプラッシュ ハイク後片付け	自炊 夕食	ミーティング	休憩 入浴	ビバーク 体験②
8/11 (日)	自炊 朝食	ベースキャンプ撤収		自炊 昼食	「ソロ」体験 内政の時間	自炊 夕食	ラストナイト BBQ	休憩 入浴	宿泊棟泊	
8/12 (月)	リストラ 朝食	宿舎 点検	リフレクションタイム	リストラ 昼食	開 会 式	解 散				

# ★プログラム紹介★



## 森の冒険・山の冒険

森での生活や登山のためのレクチャーを受け、これから始まる冒険に思いをはせる。



## 2泊3日登山

過酷な登山に心身とも疲労困憊。それでも日の出や星空を見ることができ喜びもひとしお。



## 山中クリエイティブプログラム

3班に分かれて事前に参加者で計画した登山行程を実施。不安や葛藤を乗り越え自信が芽生える。



## スプラッシュハイク

森を流れる清流の中で、身もココロも洗われた。冷たい水が心地よい。



## 全行程野外での生活

登山前日を除きすべて野外でキャンプ。食事参加者で調理。全員がプロキャンパー。



## ビバーク体験

事業2日目に全員でビバーク体験。テントよりも快適な環境を発見し、この後はみんな野外で就寝。

## 企画・運営のポイント

- 1 昨年度の反省をいかし、天候に左右されても対応できる柔軟な運営計画をあらかじめ設定した。
- 2 参加者が自発的に活動するために、「準備→活動→片付け」までの一連の作業も含め、参加者にプログラムとして提供した。
- 3 「憧れ」をテーマとして、「メンター（支援者）」と「メンティ（被支援者）」との関係から生まれる学びの構造を調査・分析するため岩見沢キャンプ心理学研究会の協力を得ながら、運営を実施した。

## 事業を終えて（成果と課題）

- 1 事業のプログラムだけではなく、事業中の生活についても野外で実施することで、参加者が自発的に行動することが自然に身につくことになった。
- 2 安全管理に向けた所内研修を充実させ、長期事業の参加者の安全管理体制を維持していく。

## 今後の方向性

- 1 長期宿泊体験事業のプログラム開発事業であり、本年度は3年目にあたる。今回の事業の成果および3年間の成果を元に、事業のねらいである「水」のアクティビティを今後の研修支援に活用できるよう整備する。また、次代を担うリーダーの育成のための構造を明らかにし、青少年教育施設に普及する。
- 2 3カ年の成果をいかしながら、次年度の新規事業の計画を速やかに実行する。